

公的医療機関等 2025 プランの変更について

1 済生会呉病院

(1) 2025 プラン変更の概要

病床機能別病床数の再編成

(2) 変更の理由

当院に求められている「回復期医療の充実」という観点から更に回復期（地ケア）病床を増床する。

また、病床再編にあたり、補助金活用の意向無し。

(3) 病床再編の概要

<再編前>			<再編後>		
急性期	50床	→	急性期	10床	△40床
回復期（地ケア）	100床		回復期（地ケア）	140床	+40床
（合計）	150床		（合計）	150床	±0床

2 大君浜井病院

(1) 2025 プラン変更の概要

病床数削減

(2) 変更の理由

令和8年9月頃に有床診療所へ転換予定。

また、病床削減に係る、地域医療介護総合確保基金（病床機能再編支援事業 単独支援給付金）を活用予定。

(3) 病床再編の概要

<再編前>			<再編後>		
慢性期	35床	→	慢性期	17床	△18床

3 眼科宍道医院

(1) 2025 プラン変更の概要

無床診療所へ転換

(2) 変更の理由

白内障の手術などが日帰り手術に移行したことによる、入院医療ニーズの低下。

また、令和7年度補正予算における病床数適正化支援事業の活用希望。

(3) 病床再編の概要

<再編前>			<再編後>		
急性期	6床	→	急性期	0床	△6床

地域医療介護総合確保基金の活用について

地域医療構想の実現に向けて、不足が見込まれる病床機能への転換や、医療機関の事業縮小等に際し必要となる経費に対して、地域医療介護総合確保基金を活用した補助事業を実施することにより、医療機関における病床機能分化・連携への自主的な取組みを支援する。

事業を実施する（補助金の交付を受ける）に当たっては、圏域の「地域医療構想調整会議」及び「広島県医療審議会保健医療計画部会」での協議を経て、地域医療構想の実現に向けた必要な取組みと確認されることが要件となる。